

ユネスコ世界ジオパーク再認定審査 が行われました！

ユネスコ世界ジオパーク認定地には、4年に1度の再認定審査が義務付けられています。令和5年7月8日～12日、洞爺湖有珠山ジオパークを2人の審査員が訪れました。

だれが来たの？

今回の審査では、ジン・ジシンさん(中国・房山ジオパーク副所長)とハン・ジンファンさん(中国・中国旅遊研究院・研究員)が来域しました。



ハン・ジンファンさん



ジン・ジシンさん

どんな審査をしたの？

事前に提出した活動報告書をもとに、見どころの保全状況、ガイド活動、案内設備、ジオパークとしてのPRなど、約300項目をひとつひとつチェックします。

結果にはどんな種類があるの？

- ①グリーンカード
今後4年間、ユネスコ世界ジオパークとしての活動が認められます。
- ②イエローカード
重大な問題(地質の見どころの開発や損壊)があり、2年後に再審査が必要という判断。2年後の審査でも改善されない場合、失格(レッドカード)となります。



7/10 西山麓散策路
新ルート



7/10 入江貝塚



7/11 伊達市大滝区
白絹の床

現地視察を終えた審査員からは、当地域の地球科学的価値や、火山と共生してきた歴史、そこで育まれた産業、そして減災活動等について高く評価するコメントが出されました。

審査員が書いた報告書に基づき、9月初旬にアフリカのモロッコで開催されるユネスコ世界ジオパークネットワーク会議で審議され、最終結果が決まる予定です。